

「自分で決める・・・当事者主権」



西宮市社会福祉協議会

障害者総合相談支援センターにしのみや

中山 猛

尼崎武庫川園ひまわりガールズ

下園 真由美

身体障害者福祉法

(昭和二十四年十二月二十六日法律第二百八十三号)

- **第1章総則 第二条** すべて身体障害者は、自ら進んでその障害を克服し、その有する能力を活用することにより、社会経済活動に参加することができるように努めなければならない。
- **2** すべて身体障害者は、社会を構成する一員として社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を与えられるものとする。

知的障害者福祉法

(昭和三十五年三月三十一日法律第三十七号)

- **第1章総則 第一条の二** すべての知的障害者は、その有する能力を活用することにより、進んで社会経済活動に参加するよう努めなければならない。
- **2** すべての知的障害者は、社会を構成する一員として、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を与えられるものとする。

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律

(昭和二十五年五月一日法律第二百二十三号)

- **第1章総則 第一条** この法律は、精神障害者の医療及び保護を行い、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律（平成十七年法律第二百二十三号）と相まってその社会復帰の促進及びその自立と社会経済活動への参加の促進のために必要な援助を行い、並びにその発生の予防その他国民の精神的健康の保持及び増進に努めることによつて、精神障害者の福祉の増進及び国民の精神保健の向上を図ることを目的とする。

『当事者主権』

中西正司・上野千鶴子 共著 岩波新書

1972年 アメリカ カリフォルニア大

バークレー校のエド・ロバー
ツが「自立生活センター」を設立

CIL: Center For Independent Living

自立生活運動 (IL運動)

◇家庭からも施設からも当事者を解放したい。



パターナリズム (恩情的庇護主義)
の見直し

当事者運動の誕生

自己選択をする権利

自己決定をする権利



◎自分で決めて入った訳ではない入所施設
で一生涯暮らすのではなく、社会で生活し
経験を積んで成長していく**権利**



- ・ピアカウンセリング
- ・自立生活プログラム
- ・アドボカシー



『青い芝の会』

- 1957年11月
- 日本最初の公立肢体不自由学校
- 東京市立光明学校
- (現都立光明特別支援学校)卒業生
- 高山久子・金沢英児・山北厚
- 「重度障害者は役に立たない、まあ放っておけば害にもならない」という社会
- ⇒当初は施設を創ろうとしていた

◇青い芝の会の運動

1970年代

◎神奈川県之母の障害児殺害事件の
減刑嘆願運動に反発

◎優生保護法改悪阻止連絡会 「産む
産まないは女（わたし）の権利
と軋轢

◎川崎バス闘争 28時間

「私たちもバスに乗せてくれ」

われらは 愛と正義を 否定する

脳性マヒ者 横田弘と「青い芝」

横田弘
立岩真也
臼井正樹

人間を罵って言えば、僕どちらかというところにいる。ほんなんですよ。どこかで人間を信じてなければ障害者運動なんかできないですよ。」

障害者団体の母体である青い芝に異議を申し立て、養護学校の廃校化に反対し、川崎バス騒動を闘ったその主張の真意は何か、健全思想を過ってどのように考えフェミニズムの運動と何を闘争したのか—人生の最後の瞬間まで私たちに譲渡を続けた、脳性マヒ者、横田弘。その60年の生涯の真像に迫る！

生活書院

思想

【増補新装版】

障害者殺しの

横田弘著



横塚晃一、横田弘、田中美津は私の3大ヒーロー

抹殺される「のち」の側にありながら、ほかならぬ自分自身の心の底にある健全思想と対峙し、そこを起点としてすべての人の解放を目指した奇跡の書……森岡正博さん（哲学者、早稲田大学教授）推薦！

現代書館

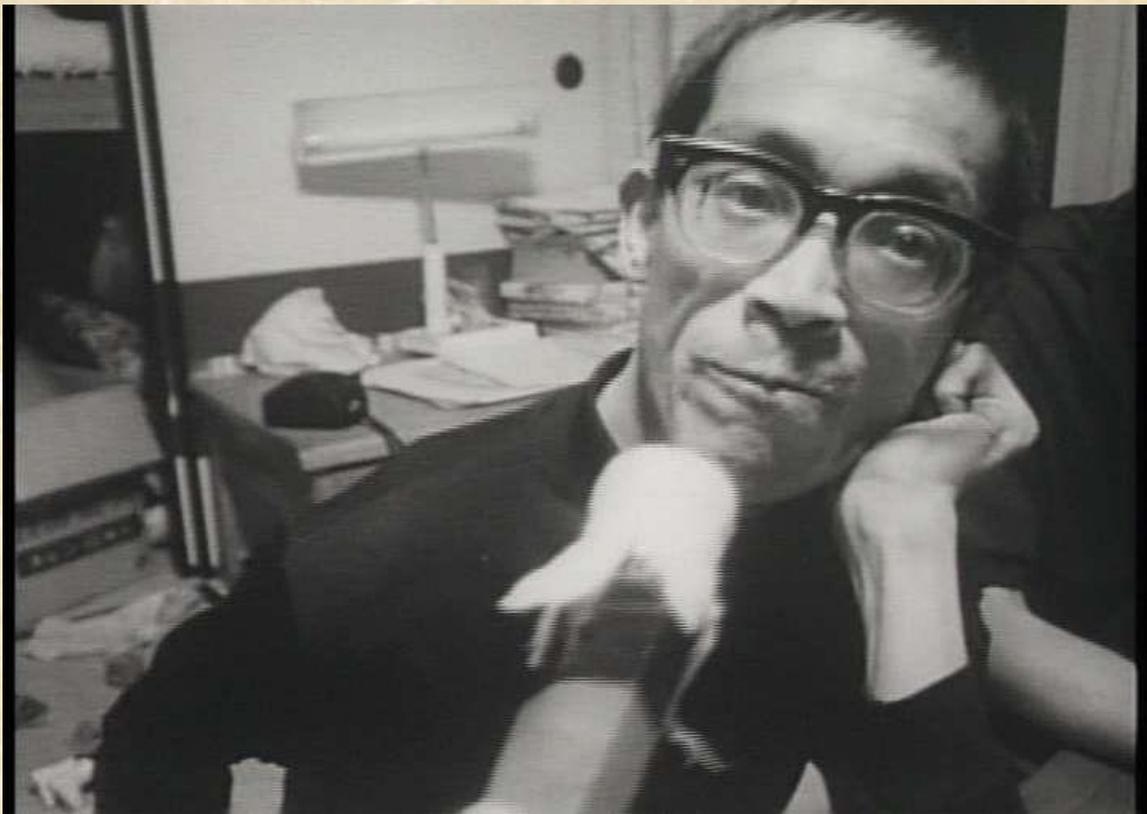


横塚晃一

解説 立岩真也

母よ！ 殺すな

生活書院



横田 弘さん

2013年6月逝去

「われらは愛と正義を否定する。われらは愛と正義の持つエゴイズムを鋭く告発し、それを否定することによって生じる人間凝視に伴う相互理解こそ真の福祉であると信じ、且つ、行動する」

地域生活を阻むもの

社会の未熟さ

◇介助者の確保(24時間介助・医療ケア)

経済的課題(障害者は働きにくい)

住宅や町のバリアフリー

地域の理解(障害者が一人で暮らすなんて)

家族の理解(自立させたら私たちが不安)



40歳代の人のことを普通に考えると



会社員か経営者かとにかく、社会でバリバリ働いて、家族なんかも居て、趣味の釣りやらゴルフやらで楽しんで

改めて当事者主体とは何か

このサービス管理責任者、相談支援専門員初任者の研修はどちらも「本人中心支援」で一貫しています。

- → 支援者側は本人が自己決定できるように決定が難しい人にはできるだけ、自己決定に同等の結果に至るように…
- 支援者側が決められるものはない。

2019年のニュースから

参議院議員に障害者が当選

木村英子さん、舩後靖彦さん、横沢高德さん



まとめ

- ○障害がある人が普通に暮らすためには、そのための環境づくり、制度の整備、周りの人たちの理解と協力が重要な要素となる。
- ○障害がある人の地域生活を実現するためには、あらゆる事象が社会資源となる。
- ○障害がある人たちも、自身の生活力を高めながら、あきらめずに、自分の生活実現を目指していきたい
- ⇒アドボカシーしてあげてください！